



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 オーミケンシ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3111 URL <https://omikenshi.co.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 高口 彰
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理部長 （氏名） 大野 泰由 TEL 06-6205-7300
定時株主総会開催日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 未定
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期	2,891	△15.1	△23	—	△229	—	△461	—
2025年3月期	3,407	12.5	235	—	6	—	300	—

（注）包括利益 2026年3月期 △483百万円（－％） 2025年3月期 305百万円（－％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2026年3月期	△69.93	—	△27.5	△1.5	△0.8
2025年3月期	45.61	37.63	17.0	0.0	6.9

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 －百万円 2025年3月期 －百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期	15,183	1,435	9.5	66.04
2025年3月期	15,819	1,919	12.1	139.33

（参考）自己資本 2026年3月期 1,435百万円 2025年3月期 1,919百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△298	△237	91	521
2025年3月期	△517	3,393	△2,680	937

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当率 （連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	—	—	—	—	—

- 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況につきましては、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。
- 2027年3月期の期末配当予想額につきましては、現時点では未定であります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	3,200	10.7	280	—	110	—	210	—	26.76

（注）当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	6,602,459株	2025年3月期	6,602,459株
2026年3月期	5,356株	2025年3月期	5,356株
2026年3月期	6,597,103株	2025年3月期	6,597,106株

（参考）個別業績の概要

2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,786	△16.5	108	△65.7	△75	—	△506	—
2025年3月期	3,337	11.3	317	149.1	21	—	116	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	△76.76	—
2025年3月期	17.66	14.57

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	15,363	1,364	8.9	55.29
2025年3月期	15,932	1,888	11.9	134.68

（参考）自己資本 2026年3月期 1,364百万円 2025年3月期 1,888百万円

〈個別業績の前期実績値との差異理由〉

繊維事業及び食品事業の販売不振等により減収となりました。また原燃料価格の高騰・物価の上昇等により経常利益は減益、更に多額の事業撤退損の計上等により当期純利益も減益となりました。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
- 2027年3月期の期末配当予想額につきましては、業績動向等を見極めつつ検討することとしており、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A 種優先株式	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2025年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年 3 月期(予想)	—	0.00	—	16.74	16.74

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調なインバウンド需要を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、依然食料品やエネルギー価格を中心とした物価上昇が継続し、消費者マインドが抑制を受け実質では個人消費の持ち直しに足踏みが見られ、国内の政治動向や政策の不透明感、日中関係の悪化による政治・外交での緊張の高まり等の影響も含め、今後の国内景気の下振れが懸念されます。世界経済においては、欧米における堅調な個人消費や新興国の経済成長が下支えとなり緩やかな回復基調は見られるものの、米国の通商政策の影響や中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰、中国での景気減速の長期化等先行きは依然として不透明な状況が続くと見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは引き続き各部門において収益改善に取り組んでおりますが、食品事業の販売不振、中国販売の不振や原燃料価格の高騰等に伴うコスト面の上昇が長期化し、販売面・利益面共に苦戦が続いております。

この結果、当社グループの当連結会計年度の業績は売上高2,891百万円（前年同期比15.1%減）、営業損失23百万円（前年同期は営業利益235百万円）、経常損失229百万円（前年同期は経常利益6百万円）、事業撤退損364百万円の計上等もあり親会社株主に帰属する当期純損失461百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益300百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①繊維

繊維部門につきましては、売上高1,402百万円（前年同期比17.0%減）、セグメント損失133百万円（前年同期は129百万円のセグメント損失）となりました。

②不動産

不動産部門につきましては、売上高1,047百万円（前年同期比15.5%減）、セグメント利益656百万円（前年同期比22.6%減）となりました。

③食品

食品部門につきましては、売上高110百万円（前年同期比18.4%減）、セグメント損失96百万円（前年同期は76百万円のセグメント損失）となりました。

④その他

その他部門につきましては、売上高331百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益10百万円（前年同期比105.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は流動資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ636百万円減少し15,183百万円となりました。負債は固定負債の減少等により、前連結会計年度末に比べ152百万円減少し13,747百万円となりました。また、純資産は株主資本の減少等により、前連結会計年度末に比べ483百万円減少し1,435百万円となりました。この結果、自己資本比率は9.5%（前連結会計年度末は12.1%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当社グループの資金状況につきましては、税金等調整前当期純損失が682百万円となり、事業撤退損364百万円、支払利息212百万円等がありましたが、事業撤退損の支払額328百万円、利息の支払額212百万円等があり、営業活動によるキャッシュ・フローは298百万円の資金の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入50百万円等がありましたが、有形固定資産の取得による支出289百万円があり、237百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出4,657百万円、リース債務の返済による支出307百万円等がありましたが、短期借入金の純増額5,136百万円があり、91百万円の資金の増加となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は、前連結会計年度末より415百万円減少し、521百万円となりました。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、長期化している原燃料価格の高騰、物価の上昇、中国での内需低迷による景気減速や不安定な日中関係、米国の通商政策による国内外経済の下振れリスク等の懸念材料があり、厳しい経営環境が継続すると予想されます。

このような状況の下、当社グループは環境を守る企業として地位を確立しつつ、安定的に収益を計上できる体制作りを目指して、高付加価値商品の開発、販売力の強化に取り組んでまいります。

通期の業績見通しにつきましては、売上高3,200百万円、営業利益280百万円、経常利益110百万円、親会社株主に帰属する当期純利益210百万円を見込んでおります。

なお、今後の先行きは非常に見通しにくい状況であり、現時点での想定しうる事象を考慮して業績予想を算定しておりますが、さらに大きな影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しく、また、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	937	521
受取手形、売掛金及び契約資産	371	178
電子記録債権	36	37
商品及び製品	432	434
仕掛品	4	4
原材料及び貯蔵品	78	48
その他	115	195
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	1,971	1,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	292	345
機械装置及び運搬具（純額）	46	51
土地	12,580	12,580
建設仮勘定	2	0
その他（純額）	19	20
有形固定資産合計	12,941	12,998
無形固定資産	5	0
投資その他の資産		
投資有価証券	73	33
長期前払費用	733	641
その他	92	94
投資その他の資産合計	899	770
固定資産合計	13,846	13,768
繰延資産		
社債発行費	1	—
繰延資産合計	1	—
資産合計	15,819	15,183

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	234	150
電子記録債務	15	74
短期借入金	6,807	7,423
1年内償還予定の社債	80	—
リース債務	166	4
未払法人税等	14	2
賞与引当金	26	30
事業整理損失引当金	—	45
その他	512	438
流動負債合計	7,857	8,169
固定負債		
長期借入金	280	144
リース債務	110	3
繰延税金負債	4,197	3,964
役員退職慰労引当金	118	81
環境対策引当金	0	35
退職給付に係る負債	295	262
預り敷金保証金	1,007	1,052
その他	32	32
固定負債合計	6,043	5,577
負債合計	13,900	13,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	5,829	5,829
利益剰余金	△4,063	△4,525
自己株式	△4	△4
株主資本合計	1,860	1,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	—
繰延ヘッジ損益	△0	2
為替換算調整勘定	38	33
その他の包括利益累計額合計	58	36
純資産合計	1,919	1,435
負債純資産合計	15,819	15,183

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,407	2,891
売上原価	2,021	1,713
売上総利益	1,385	1,177
販売費及び一般管理費	1,149	1,201
営業利益又は営業損失（△）	235	△23
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
為替差益	—	26
その他	11	2
営業外収益合計	13	32
営業外費用		
支払利息	209	212
為替差損	5	—
その他	28	25
営業外費用合計	243	238
経常利益又は経常損失（△）	6	△229
特別利益		
固定資産売却益	1,271	—
投資有価証券売却益	—	42
特別利益合計	1,271	42
特別損失		
固定資産廃棄損	29	44
減損損失	493	5
事業撤退損	360	364
事業整理損失引当金繰入額	—	45
環境対策引当金繰入額	—	35
特別損失合計	883	495
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	394	△682
法人税、住民税及び事業税	16	2
法人税等調整額	77	△223
法人税等合計	93	△221
当期純利益又は当期純損失（△）	300	△461
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	300	△461

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
当期純利益又は当期純損失（△）	300	△461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△20
繰延ヘッジ損益	△1	2
為替換算調整勘定	0	△4
その他の包括利益合計	4	△22
包括利益	305	△483
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	305	△483
非支配株主に係る包括利益	—	—

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	5,829	△4,364	△4	1,560
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			300		300
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	300	△0	300
当期末残高	100	5,829	△4,063	△4	1,860

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	15	0	37	53	1,613
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					300
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	4	△1	0	4	4
当期変動額合計	4	△1	0	4	305
当期末残高	20	△0	38	58	1,919

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	5,829	△4,063	△4	1,860
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△461		△461
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	△461	－	△461
当期末残高	100	5,829	△4,525	△4	1,399

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	20	△0	38	58	1,919
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失（△）					△461
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△20	2	△4	△22	△22
当期変動額合計	△20	2	△4	△22	△483
当期末残高	－	2	33	36	1,435

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	394	△682
減価償却費	44	48
長期前払費用償却額	6	81
減損損失	493	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19	△33
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6	△36
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	4
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	45
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	35
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,271	—
有形固定資産廃棄損	29	44
受取利息及び受取配当金	△2	△3
為替差損益(△は益)	5	△26
助成金収入	△6	—
事業撤退損	360	364
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△42
支払利息	209	212
売上債権の増減額(△は増加)	△54	120
棚卸資産の増減額(△は増加)	111	35
仕入債務の増減額(△は減少)	△168	△33
その他	117	113
小計	294	252
利息及び配当金の受取額	2	3
助成金の受取額	17	2
利息の支払額	△209	△212
法人税等の支払額	△3	△15
事業撤退損の支払額	△620	△328
営業活動によるキャッシュ・フロー	△517	△298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△934	△289
有形固定資産の売却による収入	4,328	0
投資有価証券の売却による収入	—	50
その他の収入	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,393	△237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△658	5,136
長期借入金の返済による支出	△1,835	△4,657
長期借入れによる収入	50	—
社債の償還による支出	△70	△80
リース債務の返済による支出	△166	△307
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,680	91
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	197	△415
現金及び現金同等物の期首残高	739	937
現金及び現金同等物の期末残高	937	521

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別の生産販売体制を有し、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産販売体制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「繊維」、「不動産」、「食品」の3つを報告セグメントとしております。

「繊維」はレーヨン綿、紡績糸、編織物等の生産販売を行う事業、「不動産」は不動産賃貸等を行う事業、「食品」は食料品の製造加工販売を行う事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	繊維	不動産	食品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,688	1,240	135	3,064	342	3,407	—	3,407
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,688	1,240	135	3,064	342	3,407	—	3,407
セグメント利益又は損失(△)	△129	848	△76	642	5	647	△412	235
セグメント資産	702	8,736	1,941	11,381	310	11,692	4,127	15,819
その他の項目								
減価償却費	0	23	2	26	7	34	10	44
減損損失	—	—	—	—	—	—	493	493
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	—	4	1	6	1	7	938	946

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	繊維	不動産	食品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,402	1,047	110	2,560	331	2,891	—	2,891
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,402	1,047	110	2,560	331	2,891	—	2,891
セグメント利益又は損失(△)	△133	656	△96	426	10	436	△460	△23
セグメント資産	586	8,818	1,870	11,275	148	11,423	3,759	15,183
その他の項目								
減価償却費	0	23	2	26	6	33	96	130
減損損失	—	—	5	5	—	5	—	5
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	0	4	—	4	—	4	106	110

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発・販売等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	25	27
全社費用※	△437	△488
合計	△412	△460

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
債権の相殺消去等	△1,760	△1,725
全社資産※	5,887	5,485
合計	4,127	3,759

※全社資産は、主に加古川工場及び管理部門に係る資産等であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に研究開発、加古川工場及び管理部門に係る設備投資額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
1株当たり純資産額	139.33円	1株当たり純資産額	66.04円
1株当たり当期純利益	45.61円	1株当たり当期純損失(△)	△69.93円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	37.63円	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。	

（注）1. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	300	△461
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
(うち優先配当額(百万円))	(—)	(—)
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	300	△461
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,597	6,597
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
(うち優先配当額(百万円))	(—)	(—)
普通株式増加数(千株)	1,400	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	A種優先株式(発行価額の総額1,000百万円)

（注）2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当連結会計年度末 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	1,919	1,435
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1,000	1,000
(うち優先株式払込金額(百万円))	(1,000)	(1,000)
(うち優先配当額(百万円))	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	919	435
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	6,597	6,597

（重要な後発事象）

該当事項はありません。